



希少難病

CADASIL

画期的新薬創生のための国内研究拠点の構築

AIMGAIN



研究開発代表者 猪原匡史

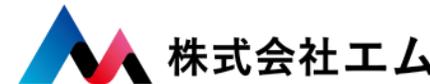
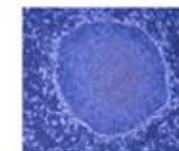
国立循環器病研究センター・脳神経内科部長

CADASILの根本治療薬の開発を目指して



- 病態解明や創薬研究に用いる*iPS細胞*の確立
- 血液などを保存する*バイオバンク*の立ち上げ
- CADASIL診断のきっかけとなる*MRIデータベース*整備
- 治療薬として有望な*核酸医薬*の開発
- CADASIL*患者会*の支援

iPS細胞を用いた
新薬開発研究



治験

CADASILの
治療法の実用化

治験即応
コホート



CADASIL研究の
オープンリソースを
企業との
コンソーシアムで
運営

早期診断法の
開発



Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy with Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy

皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性（顕性）脳動脈症

症候の
発現時期



20 30 40 50 60 70

(歳)